



東京地区生コンクリート協同組合  
〒103-0027東京都中央区日本橋3丁目2番5号  
電話番号 (03) 3271-2181  
URL: https://www.t-namakyō.jp/  
発行責任者 高 村 尚

## ＝協組の動き＝

(11月)  
8日(月) 理事会(No. 1158)  
22日(月) 理事会(No. 1159)

(12月)  
6日(月) 理事会(No. 1160)  
20日(月) 理事会(No. 1161)



生コンクリート記念日  
(11月15日、裏面参照)

# 記者懇談会を開催

## 報道6社に現況と今後の方針を説明

11月4日(木)、当協組会議室において「記者懇談会」を開催致しました。

本懇談会は当協組の出荷動向や市況動向、各種課題への取り組み状況について、報道各社への発信と意思疎通を図るため、従前は年2回程度の頻度で開催しておりましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、一昨年10月以降は開催を見合わせておりました。

今回、以下の報道6社を対象に各社の記者に出席頂き、理事長を始め当協組の執行部が対応しております。

【対象報道各社】(順不同)

- ①日本経済新聞社 ②セメント新聞社 ③コンクリート新聞社 ④日刊建設通信新聞社 ⑤日刊建設工業新聞社 ⑥建通新聞社

【懇談会の概要】

冒頭、斎藤理事長からの挨拶に続き、以下の各項目についての説明を行っております。(以下、3については斎藤理事長より、その他については西森副理事長より説明)

1、生コン価格等の値上げ実施について

- (1)生コン価格の値上げ(2020年4月1日以降の引合受付分より)
- (2)祝祭日出荷割増料金及びキャンセル料の改定(2020年4月1日出荷分より)

(3)戻りコン有償化における取消料の改定(2020年4月1日出荷分より)

- 2、生コン価格等の値上げに関する現状について
- 3、次期生コン価格(2022年度価格)について
- 4、低炭素型コンクリートの対応について
- 5、2021年度の需要動向について
- 6、アジデータ車の保有台数の近直推移について
- 7、残コン・戻りコンの発生状況について
- 8、キャンセル関係の発生状況について

当方からの説明終了後、各社の記者から活発な質問が寄せられました。特に前述3の「次期生コン価格」については、前回(2020年4月)の値上げ実施以降も原材料費、輸送費、産廃処理費等の高騰により組合員各社の経営が圧迫されていることを当方より丁寧に説明し、「今後のコストアップの動向を見極め、2022年度期中での生コン価格の改定実施」を視野に入れ、「改定額は前回の値上げ幅(1,000円/m<sup>3</sup>)を大幅に上回ることを検討している」旨の回答をしております。出席された各新聞社の紙面に既に本主旨に沿った記事が掲載され始めており、有益な質疑応答の機会を得ることができました。

今後もこの「記者懇談会」は一定の頻度で継続開催をして参りたいと思います。

## 新任理事ご挨拶

岡村 一弘



令和3年9月の臨時総会において理事に就任致しました、横山産業株式会社の岡村一弘です。

東京地区生コンクリート協同組合の一員として微力ながら協組活動に取り組んで参る所存ですので宜しくお願い致します。

簡単に自己紹介させていただきますと、私は今年69歳となります。今から46年前の昭和50年に小野田系の専業社である朝日生コンに入社し、1年間試験課に在籍しました。その後子会社の販売店で2年間販売店営業としてデリバリ、現場立合いなどを経験して、昭和53年4月にメーカーの営業として埼玉中央生コン協同組合に出向しました。

埼玉中央生コン協同組合へ出向中の昭和55年に朝日生コンが城北小野田レミコンの営業権を取得したため、当時の上司と二人で2工場を担当しました。その後平成13年4月に城北小野田レミコンが上陽グループになり同年10月に城北小野田レミコンが朝日生コンを吸収し朝日生コンが閉鎖したため、上陽レミコン朝霞工場の担当として引き続き埼玉中央協組に出向し、平成26年12月まで、約36年間従事しました。

上陽レミコンを退社後は、一時期骨材業界に行きましたが、横山産業に縁があり、この業界に戻ってきました。令和2年5月からは、埼玉中央協組の副理事長に選任頂き活動しております。

専業社と直系社の営業を経験し、組織の在り方などいろいろと勉強になることがありました。東京協組は直系工場の組合員が多く、埼玉中央協組は90%以上が専業工場の集まりの協組運営に違いがありますが、少しでも今まで培った経験が活かせればと思っています。

ところで、話は変わりますが、私の一番の趣味はゴルフになります。学生時代にクラブを握り始めて以来50数年、現在に至るまで続けております。当時はウッドといえばパーシモンにスチールシャフト、スパイクは鉋タイプだったことを懐かしく思います。一番元気の良いときに比ベドライバーの平均飛距離は、さすがに年齢と共に落ちてきましたが、何とかティーショットで210ヤードを確保しショットと寄せで、まだまだ若い人には負けない気持ちで頑張っており、いまではエイジシュートを大きな目標としております。

ゴルフ界では最近若いツアープレイヤーの活躍が目立ちますが、そこには必ず周りの人々への感謝の気持ちが述べられます。励まし合うことで、気持ちが落ち着き、やがてプレーにも良い影響が現れます。私は理事としてまだまだ新人ですが、組合員にとって良い同伴競技者になれるようゴルフ共々精進して参りたいと思いますので、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

(横山産業株式会社取締役)

	(出荷数量)		(引合、成約、契残)	
	10月(実績)	11月(月初想定)	10月(実績)	前年比
	前年比	前年実績比		
大型	202,941 m <sup>3</sup> 88.2%	200,000 m <sup>3</sup> 126.2%	引合 282,859 m <sup>3</sup>	202.7%
小型	33,290 m <sup>3</sup> 115.9%	30,000 m <sup>3</sup> 117.6%	成約 235,159 m <sup>3</sup>	198.1%
計	236,231 m <sup>3</sup> 108.3%	230,000 m <sup>3</sup> 125.0%	契残 3,447,534 m <sup>3</sup>	85.6%

